



2018年度 文部科学省委託事業「国際バカロレアに関する国内推進体制の整備事業」

## コンソーシアム事務局の活動報告（概要）

### 1. 文部科学省 IB 教育推進コンソーシアム運営業務

IB に知見を有する関係者による「文部科学省 IB 教育推進コンソーシアム関係者協議会」を開催し、IB 普及に関する諸課題の把握ならびに課題解決に向けたアプローチについて議論を重ねました。

#### 【IB 推進をめぐる 6 つの諸課題】

##### ①生徒・保護者への IB 教育に関する情報提供

\* 背景：IB 教育についてはどのような教育カリキュラムであり、それが既存の日本の教育と内容的にどのように異なるのかなどについて十分な情報を得られていない現状がある。

##### ②DP 試験費用等の補助について

\* 背景：IB プログラムを受ける生徒は従来の日本の教育を受ける生徒に比べて、プログラムの履修（特に DP）に伴う試験費用や学習における IT 機器の購入等での負担が発生することがある。

##### ③自治体への IB 導入に必要な資料提供

\* 背景：多くの公立校においては、各学校による裁量において IB プログラムの導入の是非が議論されるのではなく、教育委員会ならびに自治体における合議のもとで、導入が検討されている。

##### ④教員養成のための必要な施策について

\* 背景：IB 機構による教員研修を目的としたワークショップも開かれているが、同時に現場の学校独自による教員研修の取り組みや大学の教員養成において IB 教育に従事できる教師教育を進めていく必要がある。

##### ⑤企業家の視点からグローバル人材の必要性

\* 背景：IB 教育は語学力のみでなく、コミュニケーション能力や異文化を受容する力、論理的思考力、課題発見力などが身につくと期待され、企業関係者からも IB 教育がグローバル人材を育成する上で有効な手段と認識されている。

##### ⑥IB 導入の事例からみえる様々な諸問題

\* 事例：力量のある教員の採用、IB 教育にどのようなインセンティブがあるのを整理する必要性等

\* なお、「国際バカロレア・デュアルランゲージ・ディプロマ連絡協議会（庶務・東京学芸大学）」の事業はコンソーシアムが発展的に継承することになりました。（同協議会は 2018 年 9 月 30 日付けにて活動終了）  
—日本語 DP の導入のみならず、PYP、MYP などのすべての IB プログラムを含めた推進活動をコンソーシアムで行う  
—コンソーシアム団体会員・協力校制度の創設（学校機関ならびに国内の IB 教育推進に賛同する企業等による参画）

## 2. 国際バカロレア教育の効果に関する調査研究業務

### ① I B 普及に関するアンケート調査の実施

今年度は I B に関する情報共有のための I C T プラットフォーム (AirCampus) の運用を開始しました。そこで、ユーザーによるプラットフォームの利用状況ならびニーズや改善点、また I B に関する関心意識等を把握するためにアンケート調査を実施しました。これらの調査結果を踏まえた上で、今後の啓発活動の改善に努めます。【調査人数ならびに回答数】調査人数：271名(2019年2月28日時点の AC 登録者数)うち回答数：53名

\* 調査結果の詳細は、年度末の成果報告書にてお知らせしております。

### ② I B スコアを活用した大学入学者選抜例の調査の実施

国内における I B 修了生に対応した入試動向の把握をするために、I B スコアを活用した大学入学者選抜の事例の調査を行いました。2018年12月末時点では国内の61大学において I B スコアを活用した大学入試の実施が確認されています。また、今回の調査を通じて次のような課題も見えてきました。

- 各大学における I B スコアを活用した入試内容の差異 (I B スコア・DP 資格の活用方法が大学によって異なる)
- 国内の I B 受験生の母集団の少なさによる大学側の懸念 (国内の I B 有資格者の受験者数が相対的に少ない)
- I B 取得科目の単位認定について (国内大学では I B 取得科目の単位を大学の単位として振り替えられない)

### ③ 2019年度の調査研究について

2019年度に関しては、日本国際バカロレア教育学会と連携したうえで、日本の教育と I B 教育の効果比較調査研究を行う予定です。

## 3. 国際バカロレア導入を検討する学校等への支援業務

### I B 認定校、候補校、関心校へのヒアリング訪問の実施

国内における I B 教育の導入において、各学校が抱える課題は多岐にわたります。そこで、I B 関心校、候補校、認定校を対象にヒアリングによる学校訪問を行いました。学校現場が抱える課題やそれらの根本的な原因を直接的に把握する上でも、継続的なヒアリング訪問を続けていきます。

(今年度の訪問数：関心校—4校、候補校—4校、認定校—13校、I B 教員養成コースを有する大学・大学院—4校)

【ヒアリングで寄せられた様々な I B に関する課題・要望等】

I B プログラムの導入のステップについて / I B 導入に係る諸費用について / ワークショップについて / コーディネーター業務について / 大学進学・進路指導について / 保護者への情報共有について / シンポジウムやカンファレンス等のイベントについて / I B コース進学向けの生徒の学力診断について / I B の試験について / I B の授業見学・教育実習・インターンシップ等について 等

上記以外にも、国内の学校への支援として次のような取り組みを進めてきました。

- I B 好事例の発信としてのサンプル授業動画撮影 (AirCampus にて近日公開)
- I B EN メンバー (ワークショップリーダーならびに試験官) の候補者選定における I B 機構への協力
- I B 理解促進のための啓発活動の実施

(事例：宮城県教育委員会主催による国際バカロレア勉強会での講演、

アクティブラーニング・探究活動等に関する研修会 in 仙台への A C ファシリテーター派遣)

## 4. ICT プラットフォームの構築・運営業務

### 情報共有プラットフォーム・AirCampus の運用開始

IB に関する国内の動向やそれらに関連した関心や疑問をより広く関係者が共有できる場として一般向けの情報共有プラットフォーム (AirCampus) を構築しました。具体的な議論や情報交換は、ディスカッションフォーラムとよばれる掲示板においてテーマごとに情報共有ができます。各フォーラムにはテーマに沿った専門性を有するファシリテーターを配置したうえで、投稿に対する適切な助言や有益な情報共有を促進しています。

#### 【ICT プラットフォームの主な機能】

- 主要部門フォーラム (PYP、MYP、DP、進路・IB 入試、管理職、教員養成、行政部門における情報共有)
- IB 普及コンテンツの配信 (IB 好事例としてのサンプル授業動画、シンポジウムの講演動画の公開等)

#### 【フォーラム (掲示板) での質問事例】

教科横断的な授業実践の見学相談 / PYP・MYP の学校新設に関する問い合わせ / 科目ごとに単元例や参考文献や資料を集約するスレッドの提案 / IB と日本の学習指導要領との接点について / DP 最終試験の過去問の入手方法について / IB に親和性のある教材推薦 / 各学校での開設されている IB 科目 / 取得した DP 資格の有効期限について / 国際バカロレア入試の導入および入試広報について / 管理職経験者のケーススタディの共有 / 新設する IB 教員養成大学への要望 / IB コース大学院生としての体験談 / 他の自治体での IB 検討・導入状況について / IB 認定校での授業見学の問合せ 等

\* 現在の AC の登録者数 (個人会員 : 306 名 / コンソーシアム団体会員 : 27 機関) ← 2019 年 3 月 28 日時点

## 5. シンポジウム等の開催業務

### 国内の IB 普及促進のシンポジウム開催

コンソーシアムでは、毎年シンポジウムを開催することにより、IB 教育の認知拡大、教育効果等に関する関係者間の情報共有に努めてまいります。シンポジウムでは、国内外からゲストスピーカーを招聘した IB 普及ならびに理解促進のための講演や教育効果や大きな成果が認められた内容の発表を中心とし、対外的にも積極的に情報発信を行ってまいります。

#### 【今年度のシンポジウム概要】

##### 第 1 回 : テーマ「日本における IB 教育普及・促進に向けて」

(2018 年 10 月 14 日 於 : 文部科学省講堂 申込人数 : 501 名)

- ・ 基調講演
- ・ 各自治体における IB 導入の事例紹介
- ・ IB 修了生・保護者・教師によるパネルディスカッション (日本語 DP 生の好事例)
- ・ AC ファシリテーターによる情報交換会

##### 第 2 回 : テーマ「日本における IB 教員養成の今後の発展に向けて」

(2019 年 3 月 16 日 於 : 立命館大学朱雀キャンパスホール 申込人数 : 130 名)

- ・ 大学学部や大学院による IB 教員養成の実例紹介 (国内 8 大学の紹介)
- ・ IB 教員研修の取り組みに関する事例共有 (IB 校への教員派遣研修の好事例)
- ・ IB 現職教員によるパネルディスカッション
- ・ IB 教員養成研修に関する情報交換会